

健康

主な死因の状況

がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病による死因が約6割を占めています。

主な死因の死亡数 (単位:人)

	全死因	悪性 新生物	心疾患	脳血管 疾患	肺炎	不慮の 事故	老衰	自殺	肝疾患	慢性閉塞性 肺疾患	腎不全
20年	1,980	634	284	237	195	85	61	47	55	18	36
21年	2,118	684	299	248	168	76	81	51	49	29	30
22年	2,187	701	301	227	184	84	78	68	58	36	35

平均寿命

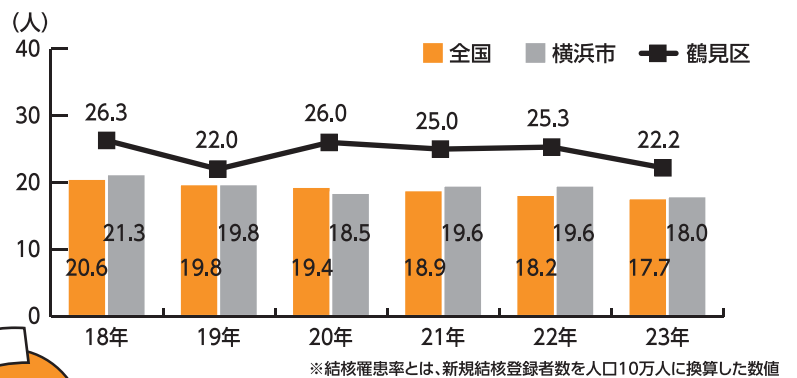
鶴見区の平均寿命(0歳の平均余命)は、横浜市の平均寿命と比べ男女とも約1歳下回っています。

区別生命表:平均寿命 (0歳平均余命)(平成22年)

	男	女
横浜市	80.18	86.63
鶴見区	78.78	85.69
神奈川区	80.10	87.09
西区	79.02	86.37
中区	76.71	85.36
南区	78.36	85.73
港南区	81.19	86.92
保土ヶ谷区	80.04	85.62
旭区	80.41	86.84
磯子区	80.22	87.11
金沢区	81.12	86.94
港北区	80.65	87.19
緑区	80.74	87.02
青葉区	81.65	86.85
都筑区	81.72	87.30
戸塚区	80.57	87.08
栄区	80.09	86.63
泉区	80.75	87.05
瀬谷区	79.66	86.14

結核

鶴見区の結核罹患率は、全国及び横浜市と比べて高く、ここ数年横ばい状態が続いています。約3分の1の方が排菌している状態で発見されており、20~59歳までの働き盛りの人の発症が多い状況にあります。



結核の予防には、栄養バランスのとれた食生活、十分な休息、禁煙など健康管理に注意することが大切だよ！
咳が2週間以上止まらない、微熱が続く等の症状がある場合は、最寄りの内科・呼吸器科を受診しましょう。

資料:鶴見区福祉保健課

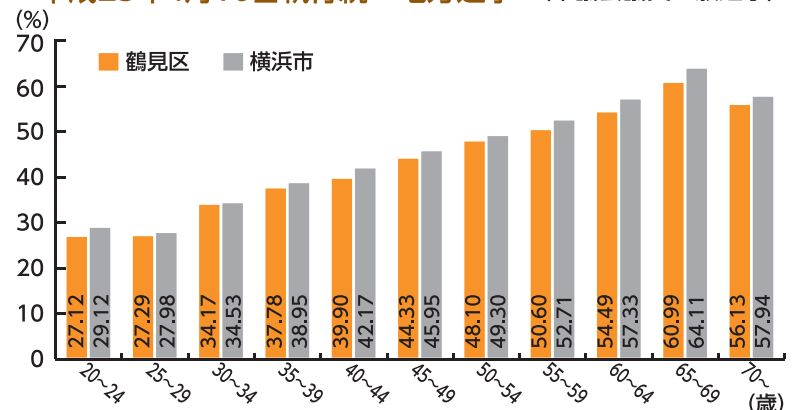
選挙

最近の投票率

選挙名	選挙日	投票率(%)	
		鶴見区	18区中順位
統一地方選挙(市会)	H23.4.10	44.42	17位 横浜市46.73
参議院議員通常選挙 (神奈川県選挙区)	H22.7.11	53.32	17位 横浜市56.65
参議院補欠選挙	H21.10.25	25.02	18位 横浜市27.78
衆議院議員総選挙 (小選挙区)	H21.8.30	64.36	17位 横浜市68.86
横浜市長選挙		64.26	17位 横浜市68.76

年齢別投票率

平成23年4月10日執行統一地方選挙 (市議会議員一般選挙)



鶴見区の投票率は低迷しており、近年の選挙ではいずれも横浜市平均を下回っています。また、年齢別に投票率をみると、20代の投票率が3割をきっており、若年層の投票率の向上が課題となっています。